

平成 24 年度 実証試験要領検討の論点

実証試験要領（第1版）においては、実証項目・参考項目等は以下のとおりとされている。

実証項目		内容
(1) 素材の特性	全光線反射率 (%)	試験片の平行入射光束に対する全反射光束の割合。
	鏡面反射率 (%)	鏡面反射において反射放射束（又は反射光束）の、入射放射束（又は入射光束）に対する比。
	拡散分光反射率 (%)	光の波長ごとの、反射放射束又は光束のうちの拡散反射成分の、入射放射束又は光束に対する比。
	全光線透過率 (%) ¹	試験片の平行入射光束に対する全透過光束の割合
	平行光線透過率 (%) ¹	物質をまっすぐに透過する光線の透過率。全光線透過率と拡散透過率の差で表される。
	拡散分光透過率 (%) ¹	光の波長ごとの、透過放射束又は光束のうちの拡散透過成分の、入射放射束又は光束に対する比。
	配光曲線	光源を含むある面内の光度又はその相対値を方向の関数として表した曲線。一般に、光源を原点とする極座標で表す。
(2) 消費電力低減率	消費電力低減率 (%)	実証対象技術（反射板・拡散板等）を導入することにより実現される照明消費電力の低減率。
参考項目		内容
(3) グレア	不快グレア (UGR)	「まぶしさ」によって人間に心理的に不快感を与える「不快グレア」を、屋内統一グレア評価法に基づいて定量的に表す指標。
(4) 演色性	平均演色評価数 ¹	基準光源による色彩を忠実に再現しているかを表した指数。原則として 100 に近いほど演色性が良いと判断される。
(参考) 平成 24 年度実証試験要領（第 2 版）において追加することを検討する項目		
実証項目		内容
耐久性	耐久性	通常使用時に想定される熱環境下において、その形状や外観を維持し、その安全性・性能に対して影響するような変化が生じないこと。
コスト	ランニングコスト削減量 (円/m ²)	標準的なオフィスにおける単位床面積当たりの月間電力料金削減量。
	コストの回収年数 (年)	保守率を考慮したコスト回収年数。対象技術のイニシャルコスト ² とランニングコスト削減量から算出する。
	ライフサイクルコスト (円/m ²)	標準的なオフィスにおける単位床面積当たりのライフサイクルコスト。保守率を考慮して算出する。

¹ 透過しない技術の場合は不要とする。

² イニシャルコストは、製品価格と標準的な設置費用の合計額である。

平成 24 年度実施のための実証試験要領は、平成 24 年度の実証機関を募集するまでに決定する必要がある。実証試験要領の全ての事項について、必要に応じて、修正・明確化等を検討する必要があるが、特に、実証項目・参考項目等について以下のとおり検討の必要がある。

①実証項目

当該分野の目的等に照らして、また、実証試験の実施状況を踏まえて、実証項目を追加・削除・変更する必要があるか検討する。また、追加・変更の場合は、その具体的な試験方法等を定める。

②参考項目

当該分野の目的等に照らして、また、実証試験の実施状況を踏まえて、参考項目を追加・削除・変更する必要があるか検討する。また、追加・変更の場合は、その具体的な試験方法等を定める。

③その他

当該分野の目的等に照らして、また、実証試験の実施状況を踏まえて、「平成 24 年度実証試験要領（第 2 版）において追加することを検討する項目」の扱いを明確にする。実証項目、または、参考項目と位置づける場合は、その具体的な試験方法等を定める。

以 上